

はしがき

## 序 章 犯罪学の歴史

- ① 古典派犯罪学 ..... 001  
犯罪学の誕生／古典派犯罪学の犯罪観／古典派犯罪学の対策
- ② 実証主義犯罪学 ..... 003  
実証主義犯罪学の登場／実証主義犯罪学の犯罪者観／実証主義犯罪学の対策
- ③ 古典派犯罪学の再興 ..... 006  
自由意思論の復活と法制度への関心／政策志向の犯罪学／原因論の危機
- ④ 犯罪学の「方法」の歴史 ..... 009  
理論の文脈／方法の歴史

## 第 I 部 犯罪の原因

### 第 1 章 社会学的要因

- ① 19世紀以前の社会学的犯罪研究 ..... 015  
社会学的犯罪研究の萌芽／フランス環境学派／デュルケムの犯罪論
- ② シカゴ学派と社会解体論 ..... 020  
同心円地帯理論／社会解体論
- ③ 緊張理論 ..... 022  
マートンのアノミー論／アノミーに対する適応様式／一般緊張理論／制度的アノミー論

④	学習理論	027
	分化的接触理論／社会的学習理論／非行サブカルチャー論／分化的機会構造理論	
⑤	コントロール理論	031
	バンド理論／漂流と「中和の技術」／セルフコントロール理論	
⑥	ラベリング論	034
	ラベリング論の源流／ラベリング論と「逸脱」／ラベリング論の主要な論点／ラベリング論の評価とその影響	

## 第2章 心理学的要因

①	IQによる説明	038
	IQとは／非行少年のIQ／IQは非行の原因か	
②	性格による説明	041
	PENモデル／5因子モデル(ビッグ5)	
③	学習理論による説明	043
	条件づけ／社会的学習	
④	発達による説明	046
	否定的アイデンティティ／発達の分類学／多重リスク要因	

## 第3章 生物学的要因

①	生物学的要因論のパラダイム変換——決定論からリスク論へ	050
	ロンブローゾの研究とその影響／現代の生物学的要因研究	
②	犯罪のしやすさは遺伝するのか	052
	家系研究／双生児研究／養子研究	
③	犯罪と関係のある生物学的要因	055
	神経伝達物質／性ホルモン／脳	
④	性差について	058

## 第Ⅱ部 犯罪の統制

### 第4章 犯罪対策の基礎

- ① 学問としての犯罪対策 ..... 063  
対策論のかたち／対策論の政治性／対策論の客観性を確保するためには
- ② 思弁と実証 ..... 066  
誤った事実認識は誤った対策を生む／思い込みから経験的な姿勢へ
- ③ 対策固有の問題 ..... 069  
犯罪学の知見は対策に直結しない／法による対策／対策の民主的統制
- ④ 刑法学と犯罪学 ..... 071  
刑法学と犯罪学の差異／刑法学の前提／犯罪学の前提／対策論におけるねじれ／犯罪は作られるものである
- ⑤ 刑罰モデルの変遷 ..... 074  
医療モデル／正義モデル／威嚇・抑止モデル

### 第5章 犯罪発生防止

- ① 刑罰による威嚇 ..... 079  
刑罰は古典的な犯罪防止策／刑罰は犯罪を抑止しているか？
- ② 社会学的要因への働きかけ ..... 082  
犯罪を説明する社会学的要因／ラベリング論に対応した犯罪統制のありかた／幼少期の子どもやその親への働きかけ／地域社会や学校環境への働きかけ／職業スキル向上への働きかけ／貧困・不平等と犯罪
- ③ 環境要因による統制 ..... 087  
犯罪の発生する環境要因への着目／環境犯罪学の理論的説明／環境要因による犯罪統制の技法／環境要因による統制への批判／環境要因による統制の評価研究

### 第6章 再犯の防止

- ① ダイバージョン ..... 092  
刑務所への道のり／警察による犯罪対応／検察による犯罪処理／裁判による犯罪処理／非行少年に対する手続の流れ／ダイバージョンの意義／ダイバージョンの注意点

② 施設内処遇	102
日本の矯正と更生保護に影響を与えたRNRモデル／刑務所／少年院	
③ 社会内処遇	113
保護観察の概要／社会内処遇を効果的に進めるためのさまざまな方策	

## 第Ⅲ部 犯罪学の研究方法

### 第7章 犯罪の測定

① 公的機関によるデータ	123
はじめに／認知件数と検挙件数	
② 自己報告によるデータ(1)——犯罪被害についての自己報告	127
はじめに／犯罪被害実態(暗数)調査の概要／犯罪被害についての自己報告の可能性と限界	
③ 自己報告によるデータ(2)——犯罪行為についての自己報告	131
はじめに／犯罪行為の広がり／犯罪行為についての自己報告の妥当性	

### 第8章 実証的研究方法

① 実証的研究とは	137
まずは客観的であること／ある「実証的研究」の例／原因解明研究における実験法とその限界	
② 倫理的配慮について	141
研究倫理の重要性／研究対象者への倫理的配慮／社会的影響への配慮	
③ 犯罪学で使われることの多い研究方法の実際	145
犯罪学研究法の概要／蓄積された資料・データを用いる場合／研究者が自らの問題・目的に応じて資料・データを収集する場合	

### 第9章 統計学の活用

① 基本的な概念	150
記述統計と推測統計／変数／仮説／記述統計量／正規分布／中心極限定理の考え方／中心極限定理を直感的に理解するためのExcelの利用法	

② 統計的検定の考え方 .....	159
統計的検定の手順の概観／統計的検定の実際／ $p$ 値の意味	
③ 変数間の関連性を示す分析手法 .....	161
相関分析／クロス表分析／回帰分析	
④ 犯罪学の研究論文の読み方の実例 .....	166
「方法」から分析手法を把握する／各変数がどのように得られたかを理解する／重回帰分析の結果のみかた	

## エピソード

用語解説

推薦図書

引用文献

事項索引